

# 江戸の歴史を楽しく覚えるために

本書は室町幕府が滅亡する1573年から300年後の明治5年(1872)までの年を洒落や共通事項などで覚える本である。出来事からの年数の想起は可能な限り史実と関連付け、年数からの想起は300年をひとくりにして記憶できるようにした。

また楽しみながら読んでいただけるよう、俳句、川柳、狂歌など歴史の中の言葉遊びを盛り込んでいる。本書は300年の完璧な年表ではない。あくまでもポイントとなる事象の年数を覚えるために、細微な事象が含まれないことをお断りしておく。

## 本誌の特長と活用について

### 1.すべての年数を語呂合わせて覚え、

見開き300年の年数(下二桁)を共通(関連)して覚える。

#### 88 年数からの想起

88の語呂から「ハハ、パパパッパ」で事象を想起させる。

ハハとパパめでたいパッパ

1588(天正16年)

後陽成天皇

戊子

### 遺恨母(1588)の思い胸に秘めく茶々 秀吉の側室に

#### 出来事からの想起

天皇の行幸を諸大名に示す

秀吉(52)は4月、聚楽第に後陽成天皇(18)の行幸を迎え饗応する。

またこの頃、叔父織田長益(42)の庇護を受けながら安土城-聚楽第へと移り住んでいたお市の方の遺児・茶々(20)を側室にし、翌年完成する山城国淀城を与える。



茶々は側室ではない  
面影を求めて娶る茶々かな(選山)

1688(貞享5年-元禄元年) 5代將軍綱吉 東山天皇 戊辰

### 一同パッパ(1688)と元禄御輿く神田御輿が始めて江戸城に入る

1788(天明8年) 11代將軍家斉 光格天皇 戊申

### いーなパパ(1788)を大御所にく家斉、父を大御所待遇へ動く

## 2.川柳・狂句で楽しく学ぶ

当時の川柳・狂歌・落首や新作の川柳等を掲載

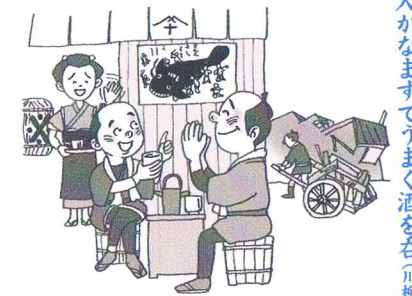
### (1804)文化元年梅屋敷開設

### (1855)安政の大地震発生



八百善に集う四人 画は憲齋

江戸期につくられた川柳を掲載

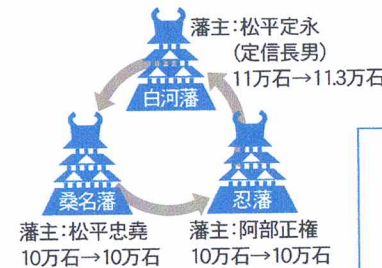


職人がなまらずでうまく酒を呑(川柳)

## 3.事象からの関連イメージで他の出来事も覚える

Image Link イメージリンクで同じ年の出来事を覚える。

### (1823)白河藩→桑名藩→忍藩→三つ巴転封



桑名藩を武蔵国忍へ、忍藩を白河へ転封。白河藩隠居・元老中首座松平定信(66)が、港湾財源を持つ桑名への転封を狙って仕掛けたとされる。

Image Link

(新任)

ドイツ人医師シーボルト(28)は、蘭領東インド会社の軍医を経てオランダ商館医として出島に着任。



→1824年・1828年  
\*関連ページ

## 4.記載された人物がその年何歳かを記載。

日本人は旧暦の数え年、外国人は西暦の満年齢表記。没年の場合は青色で表示。

## 5.図版や漫画で出来事の経緯を理解する。

## 6.覚えづらい人物などを語呂で覚える。

## 7.出来事の関連年表を数多く掲載。

その他江戸っ子が楽しんだりとり遊び、なぞかけ遊びなど、言葉遊びの事例を掲載している。楽しく愉快に学んでいただければ幸いです。広目屋隆助 拜。



戦国期(室町幕府滅亡)〜安土桃山時代

改元 1573(元龜3年-天正元年) 15代將軍足利義昭 正親町天皇 癸酉

以後なみ(1573)だの室町幕府<足利義昭失脚京追放>

\*7月28日元龜から天正に改元



織田信長(40)の擁立で15代將軍に就いていた足利義昭(37)はその傀儡的立場の不满から密かに反信長包囲網を策動する。しかし4月武田信玄(53)が急死すると、信長は二条御所に籠城の義昭を攻撃、7月18日義昭は逃亡し足利幕府は滅亡する。信長包囲網を撃破し畿内を平定

8月信長は3万の兵で越前へ侵攻、一乗谷城の戦いで朝倉義景(41)を敗り、9月小谷城を攻撃、浅井長政(29)を倒す。11月には河内の三好義継(25)を敗り、近畿・近江を手中に収める。

●その後の足利義昭

榎島城で敗北 河内国へ追放  
天正4年(1578)備後国 鞆(とも)に逃れ、毛利に守られる。  
天正15年(1592)秀吉の側近となり山城国榎島1万石拝領。  
慶長2年(1597)大坂で没(61歳)。



1596年 16人  
徳川家康 羽柴秀吉  
32歳。前年三方ヶ原の戦いで武田に敗北も信玄の死により危機を回避。 拝領、万石大名になる。  
37歳。一乗谷、小谷城攻めに貢献。浅井旧領を没収、万石大名になる。

Image Link

(正直商い-見得はる役者)

初代市川團十郎(15)、「荒事」を上演  
「隈取」等の誇張した扮装と「見得」や「六方」等の力強い表現で行う芸=「荒事」が江戸歌舞伎で評判になる。「荒事」は2代目團十郎によって完成される。



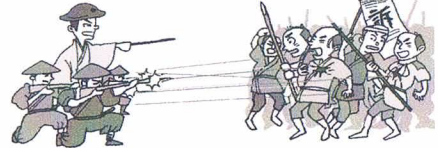
1773(安永2年) 10代將軍家治 後桃園天皇 癸巳

非難なみ(1773)だの大原騒動<飛騨天領地騒動、幕府鎮圧>



●明和騒動(明和8年/1771年)  
代官大原紹正(つぐまさ)は木材切出しを休止し、農民に支払う木材代の米を幕府に返納した。しかし内実は商人と結託し別途安い米を仕入れ返納、元の米の値上がりで利鞘を稼いでいた。これに農民が怒り打ち壊しや江戸へ嘆願等の騒動となる。

金属や木材等の豊富な資源を持つ天領地飛騨高山(江戸前期は金森藩で元禄5年金森氏上山藩移封後、幕府直轄領)で、郡代大原氏の苛政に抗議する大規模な農民一揆が、明和〜天明まで三度起きた。中でも安永騒動は検地に反対する1万の農民に対し、銃火を浴びせる等の非情な鎮圧を行った。→1769年参照



●安永騒動(安永2年/1773年)  
代官大原紹正が田畑の再檢地を通告。重税を恐れる農民は大規模な一揆を起す。大原は幕府に出兵を要請し、鉄砲隊を含む隣国5藩2000人の兵が大鎮圧を強行。大原はこの功績により郡代に昇進する。  
●天明騒動(天明元年/1781年)  
紹正の嫡子正純は、農民への過納金を返還しなかったり、幕府からの天明飢饉対策の年貢免除分を着服する等私腹を肥やした。この悪行は幕府の知所となり、寛政元年八丈島に流罪となる。

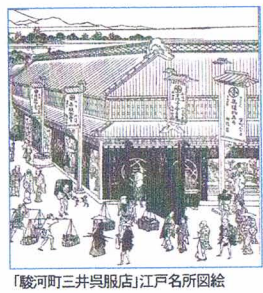
(Image Link)  
(飛騨の騒動-上杉-七家騒動)  
上杉治憲(鷹山)(23)の改革に反対する藩の重役7人が改革推進派の罷免を強訴。結果7家は切腹や改易等の処分となる。→1767年参照  
(越後屋の近くの長崎屋)  
江戸に参府していた新任のオランダ商館長フェイトの滞在先長崎屋を蘭学者・中川淳庵(35)が訪れ蘭学の知識を深めた。→長崎屋1735年参照

改元 1673(寛文13年-延宝元年) 4代將軍家綱 靈元天皇 癸丑

遠方(延宝)より開くなみ(1673)だの大商人<三井越後屋江戸で開業>

\*9月21日京都大火・禁裏炎上により改元

三井家永世法宗(遺書)より素人呉服物買に出申儀難成様之候処を、猿国の田舎もの、女童に、盲人も買に参候ても皆明申様に致し、現金をせらねなしに商売致し始め…(享保7年三井高平作成)



伊勢商人三井高利(52)は日本橋本町に呉服「越後屋」を開く。10年後、駿河町(現日本橋室町)に移り、武家相手の掛売り商いを庶民に顧客を広げ、「現銀安売無掛値」の商法で江戸最大級の呉服商として繁栄する。  
三井家のバイブル『宗竺遺書(そうちくいしよ)』高利の長男三井高平(たかひら)は隠居後宗竺と称し、利だけを求める商いを戒める三井家の家法を残した。

8 浅井長政(1545~1573年)近江小谷城主。織田信長の妹・お市を妻として織田家と同盟を結んでいたが、朝倉家との関係から信長と対立、元龜元年姉川の戦いに破れ、この年小谷城を攻められ自刃。

9 金平浄瑠璃と荒事/明暦年間に江戸で軍記物の古浄瑠璃が流行し、その中から坂田金時の子・金平の武勇伝を扱った荒々しい人形の演出の金平浄瑠璃が誕生、歌舞伎の荒事の成立に影響を与えた。



1669(寛文9年) 4代将軍家綱

霊元天皇 己酉

☆一揆ブロック(1669)シャクシャインの戦い<松前にアイヌ族蜂起>

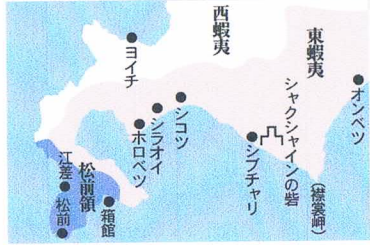
アイヌ民族は江戸以前より津軽や南部と自由な交易を行っていたが、17世紀以降、松前藩に独占されアイヌ部族に不満が広がっていた。この年シャクシャインは各部族に松前打倒の蜂起を促した。



6月蝦夷地シブチャリのアイヌ族長シャクシャインが松前藩の抑圧に対し蜂起、蝦夷各地のアイヌに抵抗の輪が広がる。幕府は津軽・南部藩の加勢を投入、2年後に平定。以後アイヌ部族への支配は強化される。

→最後の戦い「国後メシナの戦い」1789年参照

憎し和人は癩の火種遺す



1769(明和6年) 10代将軍家治

後桜町天皇 己丑

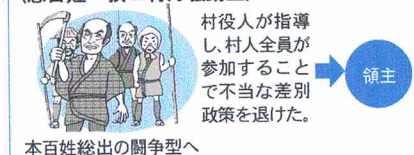
非難ロック(1769)で取り締まれ<諸国百姓徒党強訴の取締り>

百姓一揆の変遷 江戸時代の発生件数約3000件

●江戸前期(島原の乱以降) 年平均4.5件 <代表者越訴型>



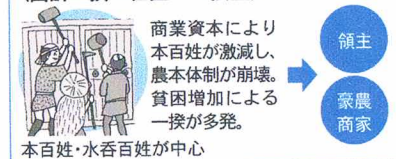
●江戸中期(享保年間以降) 年平均10件 <惣百姓一揆&村方騒動型>



幕府は百姓一揆鎮圧に際し、「取鎮め難き様子にも候はば飛び道具等使い候ても苦しからず候」との「鉄砲の使用」を認めた。徒党・強訴・逃散の密告を奨励し、これに対する懸賞を高札に掲げる等、一揆の弾圧強化策を打ち出した。

→1749・50年百姓一揆参照 →1773年大原騒動参照

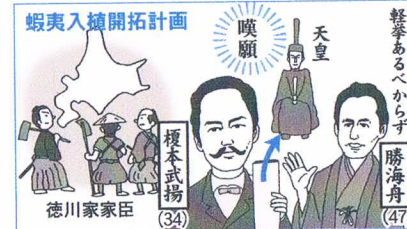
●江戸後期 年平均18件 <国訴一揆&世直し一揆型>



1869(明治2年)

明治天皇 己巳

☆陣やロック(1869)だ五稜郭<戊辰戦争の最後、旧幕軍の砦陥落>



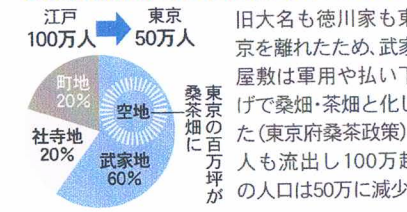
旧幕臣による蝦夷地開拓を目指し、最新鋭艦「開陽丸」で箱館に上陸した榎本武揚(34)は共和国を樹立する。開陽丸はオランダから持って来た当時日本最大の軍艦(幅・長さが咸臨丸の2倍)だったが、交戦中の江差沖で座礁不能となる。

版籍奉還 1月23日

薩摩、長州、土佐、肥前の4藩が率先して版籍を朝廷に差出す。他藩もこれに倣う。



●東京の人口が減少、武家屋敷が桑茶畑に。



開陽と共に沈みし蝦夷の夢(広貝屋)

戊辰戦争が終結、版籍奉還など新しい制度や整備が進む。

5月、旧幕軍の抵抗は箱館五稜郭の陥落で幕を閉じた。新しい国体の整備を急ぐ新政府は版籍奉還により大名の諸領地と領民(戸籍)を天皇に返上、四民平等(士農工商の身分制度を解き、皇族・華族・士族の支配階層は残す)を取り入れる。

施政面では、5月京都で初の公立小学校が開校される等、大学をはじめとする教育制度の確立や東京・横浜間の電信開始など近代化へのインフラ整備を始める。

新しい太政官制「二官六省制」7月8日

前年制定の太政官制の改革を行い二官六省制に。同制は明治18年、内閣制度発足に伴い廃止。

Table with 3 columns: 神祇官, 大政官, 行政責任者. Lists various government departments and their heads.

●東京-横浜32km間の電報取扱い開始



榎本武揚(たけあき) / (1836~1908年) 幕臣、オランダ留学後海軍副総裁。箱館戦争降伏後許され北海道開拓使となる。その後も駐露公使として樺太・千島交換条約の締結や文部・外務大臣等を歴任。